

観音前遺跡 第65地点

遺跡名	観音前遺跡
よみがな	かんのんまえいせき
調査地点	第65地点
主な時代	平安時代（約1200年前）
調査地	富士見市大字水子 1853-1の一部
調査面積	78 m ²
調査期間	令和3年11月11日～11月12日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 平安時代竪穴住居跡1軒</p> <p>【出土した主な遺物】 甕、須恵器片</p> <p>【概要】</p> <p>水子地区の観音前遺跡は、志木方面から城の下を通り、浦和バイパスと交差する坂道「岡の坂」の北側を中心に広がっている、弥生時代・古墳時代・平安時代を中心とした集落遺跡です。本遺跡の範囲内では近年開発が盛んであり、それに伴って多くの地点で確認調査が行われています。</p> <p>今回の調査もそのような例の一つであり、約78 m²と比較的狭い範囲での調査ではありましたが、平安時代の竪穴住居跡の一部が確認されました。住居跡は全体の4分の1ほどしか調査できませんでしたが、甕を芯材としてカマドを設けていた様子がわかりました。</p>



平安時代の竪穴住居跡完掘状況



カマドの「ソデ」部分の芯材に甕を用いている